

民放事業者の経営ガバナンスに関する検討について

2018年11月20日

一般社団法人 日本民間放送連盟

- 民放連は**自ら放送の未来像を描く**ため、本年7月に「**放送の価値向上・未来像に関する民放連の施策**」を取りまとめ、各専門委員会における検討を進めています。
- 同施策は、通信・放送の融合時代における放送の価値向上策や、放送事業の未来像を検討・研究するための取り組みです。放送に対する国民・視聴者の信頼確保や、メディア環境の変化への対応にっそう注力するとともに、あわせて**民放事業の経営基盤の強化を目的**としています。
- **民放事業者の経営ガバナンスも同施策の一環として検討**を進めており、**アンケート調査の実施を企画、検討**しています。

アンケートの実施概要（案）

1. **調査目的**：民放事業者にはステークホルダー（国民・視聴者、地域社会、株主、広告主、従業員、債権者）との対話・協調を通じてメディア環境の変化に対応し、①民主主義の基盤としての社会的価値、②広告媒体としての経済的価値などの企業価値を長期的・持続的に向上させることが求められている。

本アンケート調査では、**会員社が目指す企業価値を明らかにしたうえ、その実現のための民放事業者の経営ガバナンスやコンプライアンス対策の現状を調査し、ベストプラクティスを共有**することで、会員各社における「放送の価値向上・未来像の検討」の参考に供する。

2. **実施主体**：民放連・放送計画委員会
（委員長：宮内正喜・フジテレビジョン社長）

3. **調査対象**：民放連会員の地上テレビ社（127社）

4. **スケジュール**：年内に調査を開始し、**平成31年3月上旬を目途に取りまとめを行い、ベストプラクティスを共有**する。

設問項目（例）

①経営理念、②経営の目標

- 経営理念、社訓などに盛り込まれている、実現を目指す企業価値
- 中期経営計画の目標
- 少子高齢化や地域の過疎化、インターネット広告との競争など、メディア環境の変化に対応するための事業、施策

③経営ガバナンス

- 取締役、社外取締役の人数
 - 取締役会における審議の実効性確保策
 - 成長のための経営の仕組み
- 取締役会の役割、メディア環境の変化に対応した企画・事業案が現場から経営に上がる仕組み、女性の活躍推進などに関する選択肢を用意
- 社外取締役に期待する役割

設問項目（例）

④コンプライアンスの徹底

- コンプライアンス徹底のための組織の仕組み

→ ハラスメント防止、内部監査、「ヒヤリ・ハット事例」を共有し事故を防止する仕組み、コンプライアンス教育、情報保護対策、サイバーセキュリティ対策、子会社・関連会社の取り組みなどに関する選択肢を用意

- E S G（環境、社会、ガバナンス）経営の取り組み

→ 省エネルギー対策、番組制作の契約・働き方などに関する選択肢を用意

- 監査役、社外監査役の人数

- 監査役が職責を果たすための仕組み

⑤ステークホルダーとの対話・協調

- 国民・視聴者、地域社会との対話・協調を図るための施策

→ 視聴者意見の活用、番組審議機関の運営、地域の文化的・経済的な振興などに関する選択肢を用意